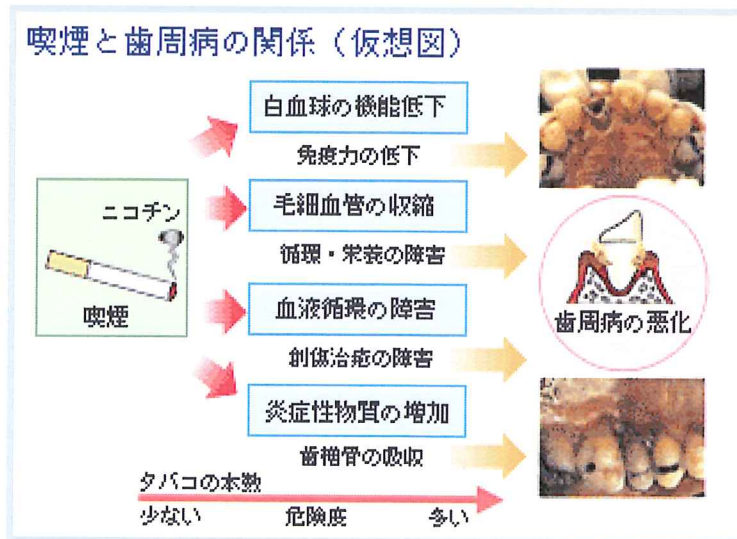


喫煙と歯周病の関係は？

喫煙（タバコ）が健康に悪影響を及ぼすことは、ご存じのとおりです。タバコの煙は口を通るため、お口の病気にも重大な関係があります。最近の研究で、喫煙者が歯周病になる危険性（＝歯周病リスク）は軽い喫煙者で2～3倍、ヘビースモーカーで5～6倍も高くなるという報告があります。その理由として、喫煙者の歯ぐきは血行が悪く、細菌への抵抗力が弱いこと。また、歯周病のサインである歯ぐきの出血に気づきにくいことがあげられます。喫煙量の多い人、若い年齢層の人は特に要注意です。

歯周病は、喫煙本数や喫煙期間とも関係があります。喫煙の累積本数が増加すればするほど、歯周病の病状は悪くなっていきます。

喫煙歴が長く、ヘビースモーカーであるほど歯周病への影響が強くなるということです。禁煙すると、歯周病のリスクが下がることもわかっています。



◆喫煙が歯周病を増悪するメカニズムは次のように説明されます。

タバコの煙の中には2,000種以上の有害な物質がふくまれています。その中でも、毒性が強く、多く含まれているニコチン、タール、一酸化炭素が三大有害物質とされています。喫煙すると、タバコの煙に含まれる有害物質は、肺だけでなく口の中の粘膜や歯肉からも吸収されます。口の中の粘膜や歯肉の細胞は、タバコの有害物質が障害となり、正常な免疫機能ができなくなります。口の中の粘膜や歯肉の免疫力も低下し、正常な免疫機能がみだされます。このような状況下では、歯周病細菌に対して局所の抵抗力が弱まるので、歯周病細菌は増殖しやすくなり、歯周病の発症・進行を助けることとなります。

こういったことから、喫煙者は歯周病になり易く、歯周病になると悪化が早く、治療に際しても治り難く、再発もし易いこととなります。

歯の着色や口臭などエチケット面からもタバコを減らし、お口を美しく健康に保つようにしましょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

■年末年始休診日のお知らせ (12月23日～1月12日)

日	月	火	水	木	金	土
23 休診	24 休診	25	26	27	28	29 午前診
30 休診	31 休診	1 休診	2 休診	3 休診	4	5
6 休診	7	8	9	10	11	12 休診

※12月29日(土)午前診療 10:00～13:00

医療法人メディカルフォース

フォース歯科

〒007-0813
札幌市東区東苗穂 13条1丁目2-1
フリーダイヤル: 0120-130-554
<http://www2.snowman.ne.jp>

■ 診療時間 ■

月～金曜日 10:00～19:00
土曜日(第1,3,5) 10:00～16:00
休診日: 土曜日(第2,4)・日曜日・祝祭日